

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 北本町1丁目13-1上雅ビル1F

知事さんへ 104歳女性訴える “戦争の道はやめて” 政府は港の軍事利用推進、米軍利用も認める日米地位協定の存在



「あなたには戦争により最愛の夫を失いながらも、戦後の混乱の中で家庭を守り苦難を乗り越えて、立派に生き抜いてこれ今日の社会の発展に寄与されました。そのご苦勞に対し心より敬意を表しますとともに社会への貢献をたたえ表彰します」
「知事さんは、覚えちゅうろうか」と話します。

問われる知事

国の資料や平和委員会との交渉記録から明らかに軍事訓練ができることあり、攻撃対象になる危険について知事はどういう態度なのか県民は注視しています。また、港湾労働者も国に対し危険だと意見書を提出しています。

22歳で夫が戦死、母子で生きてきた知事へ、表彰状の言葉を思い出して

市内北部に暮らす104歳のおばあさんは毛糸の帽子をかぶり、正座をして話してくれました。おばあさんは、22歳の時に25歳だった夫を戦死（フィリピン戦）で失う。お腹には初めての子ども（娘）がいて、「ずっと泣きよった」と。戦後、貧しさの極限の中で夫の家族にも支えられながら、必死に生きてきたと語ります。今、国が民間の港を軍事利用・有事訓練する動きだと伝えました。「高知港も須崎港も宿毛港も名前があがっちゃうがよ」と言うと「そりゃー戦争への道や、何でそんな事をする、知事さんに止めるように言うて」といい、数年前、長寿の祝いに濱田知事からもらった表彰状を見せてくれました。そこには大事な言葉がありました。

補聴器で認知低下を防ごう！

署名が始まりました。ご協力ください

聴力は「健康長寿の根幹」

高齢者の難聴は軽度や中度でも認知機能の低下を早めるとの研究結果があります。2023年7月アルツハイマー病協会が示す、認知症リスクのあるグループは補聴器がある場合、認知機能の変化が48%少なくなると報告しています。

購入しやすい取り組みを

医療保険がきかず高価、低年金であきらめている人、つけることが恥ずかしいと思っている方もいます。でも聞ける大事なことです。補聴器購入の保険適用や補助制度の拡大を求めて行きましょう。



おたまじゃくし

火曜市で桃の花と黄色のチューリップを買う。

隣のお客さんが「お雛様に合うねー」と。青空のもと上町の市には、みずみずしい野菜や花、笑顔が並ぶ。

一方で高知でも特産の一つ、梨が危機にあるのだ。葉っぱが枯れた様になる「火傷病」が広がっている。

原因は中国産の梨花粉、国は輸入を停止した。

農林水産省によると、2022年に輸入された中国産の梨の花粉は606kgあり、輸入の梨の花粉の9割が中国産という。高知でも約150戸の梨農家が全国と同じく困っている。1kgの花から採れる花粉の量は、たった10g（オクラ一本が8g）。国は自前で花粉を集めてと呼びかけるが、その労力は計り知れない。

千葉県では花粉の採取機やミツバチの確保へ協議が行われているとも聞かすが、何もかも輸入頼み、担い手がいない農業にしたのは誰か。国の農政が根本から変わらなければ食糧難の国になる。今、農業基本法の見直し議論がされているが、有事の時に国が花農家にも芋を作れと命令できるとあり、従わなければ罰則。戦争準備の政治はここまで来たかと、危機を感じる。

無料 生活・法律相談会

3月17日 午前10時~12時
新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士
毎月・第3日曜日 開催中！